

2024年6月4日～14日の期間中、株主の皆様から、インターネット上で事前質問を受け付けました。いただきましたご質問について、下記のとおりご回答申し上げます。(なお、同主旨のご質問への回答は、項目ごとにまとめて記載しております。)

当社ウェブサイト<<https://ir.mol.co.jp/ja/ir/stock/gms.html>>上の当日の動画配信と併せてご参照ください。

Q1. 第1号議案 剰余金の処分の件

24年3月期の配当金が前期比減額となった理由

連結配当性向30%を目安として業績に連動した配当を行う方針を取っておりますため、運賃の高騰により歴史的な好業績であった2022年度と比べますと、減配となります。もっとも、2023年度の年間配当金220円/株、2024年度の予想年間配当額180円/株はそれぞれ過去3番目と4番目の高さです。引き続き利益額に沿った配当を行いつつ、株主還元の増加も検討してまいります。

Q2. 第1号議案 剰余金の処分の件

剰余資金の具体的な活用方法について

経営計画「BLUE ACTION 2035」の実現のため、積極的に投資を行っております。2023年度はLNG船やFSRUの新造発注、国内外のオフィスビル取得などを実施いたしました。2024年度以降はM&Aと非海運を中心とした事業開発をさらに加速させていく計画です。

Q3. 第1号議案 剰余金の処分の件

当社の利益剰余金の金額について

2024年3月末時点の連結利益剰余金は1兆6,851億円となります。当期純利益の増加等により、前年度1兆5,715億円から1,136億円の増加となっております。

また、2024年3月末時点における当社単体の利益剰余金は6,772億円であり、前年度5,227億円から1,545億円増加しました。

Q4. 船舶の運航による外来生物の侵入に対する防止策や、生物多様性保全の取り組みについて

特定外来生物が港等で発見された場合は、港湾管理者及び所管の行政当局に直ちに報告の上、当局にて実施される調査・対策に最大限協力することで、国内への侵入防止に努めています。

船舶についても、特定外来生物の侵入防止に関する法律等について、船員に対する情報提供及び注意喚起を実施しています。また、船に起因する外来種の侵入・拡散防止の取り組みとして、バラスト水管理があります。バラスト水とは船の航行時に船の安定性を保つための海水で、荷揚げ時に船内のタンクに貯留した海水を荷積み時に排出します。海水の移動に伴い海洋生物の越境移動の可能性があることから、当社グループ船には、排水時に混入している水生生物の分離、除去等を行い、バラスト水を適切に処理する装置を搭載しています。

以下のご質問に関しましては、株主総会当日にご回答申し上げます。

詳しくは、当社ウェブサイト<<https://ir.mol.co.jp/ja/ir/stock/gms.html>>上の株主総会の動画配信をご覧ください。

Q5. 昨今の国際情勢・異常気象の当社業績への影響について (株主総会当日の回答要約)

長期化するロシアのウクライナへの侵攻、あるいは現在のイスラエル-パレスチナ間の紛争状況の悪化を例とした地政学リスクの高まりや、パナマ運河における渇水の影響で船舶が航行できないことなどを念頭に置いたご質問と理解しております。

現状、紅海地域は非常に危険な状態であるため、ほとんどの船がアフリカ南端の喜望峰経由で運航している状況です。また、パナマ運河も十分な水量が確保しきれていないために、限定的な運航や通航を強いられております。

こうした状況は短期的には需給関係を引き締め、海運市況を押し上げる効果があるため、当社の業績に対してはどちらかといえばプラスの影響が出ております。しかしながら、こうした状況の長期化により、インフレによる世界的な消費の減退や、原油価格や保険料などのコストの上昇といったネガティブな面も表れることが想定されます。

現時点では短期的に見たプラスの材料がやや勝っているものの、中長期的に見たマイナス要素も踏まえると、地政学リスクや異常気象等の諸問題が落ち着くことは、当社の安定的な事業運営に寄与すると考えております。現時点においては、様々な困難に屈することなく、安定したサービスを継続できるよう、努力を続けております。

Q6. クルーズ事業について(株主総会当日の回答要約)

- ・当社子会社の関東運輸局からの是正命令を受けての対応と、「MITSUI OCEAN FUJI」及び「にっぽん丸」の2隻の体制になることによるサービス内容の変化について
- ・今後のクルーズ事業の差別化や展望について

当社子会社である商船三井クルーズ株式会社は、関東運輸局から、船員労働時間に係る労務管理記録簿適正記載と労働時間上限遵守に関して是正命令を受け、深く反省するとともに、是正のための施策を講じ、再発防止に努めております。2024年12月からは「MITSUI OCEAN FUJI」及び「にっぽん丸」の2隻によるサービス体制が始まる中、必要な人材の確保や業務習熟のためのトレーニングを現在進めております。2隻でのサービス体制になってからもお客様の心に残る特別なクルーズをご提供できるように、お客様にご満足いただけるサービスを可能とする業務手順の確立と、その実現を支えるしっかりとした組織体制の構築に向け、法令が定める労働時間制限を遵守しつつ、クルーズ事業に関わる役職員一同が力を合わせて取り組んでおります。

当社におきましては、クルーズ事業を成長事業と位置づけ、事業を支える組織とシステムへの投資を強化しております。当社の新しいクルーズブランドである「MITSUI OCEAN CRUISES」の強みはクルーズ事業を通じて培ってきた伝統を生かした「日本の美しい船旅」であり、このユニークな商品を通じて、海外のクルーズ船との差別化を図ることができると考えております。この強みを維持発展させていけるように、これからもお客様の貴重なご意見に耳を傾けてまいります。